

平成26年8月19日

中泊町新庁舎建設基本設計・実施設計のプロポーザル審査について

中泊町新庁舎設計者選定審査委員会
委員長 秋元良一

中泊町新庁舎は、2011年3月11日に発生した東日本大震災の教訓を活かし、今後予想される自然災害等に備えた緊急時の防災機能を重視しつつ、住民サービスや行政・事務効率の向上を図るとともに、住民に開かれ、まちのシンボルとなるような愛着の持てることが求められています。

その新庁舎に相応しい、創造的かつ高度な設計能力、質の高い作品実績を有する設計者を選定するため、指名型プロポーザルが実施されました。

本プロポーザルでは、中泊町建設業者指名審査会において実績や能力を総合的に評価し、プロポーザル提出要請者として5者を選定し、5者より参加表明書及び技術提案書の提出がありました。

中泊町新庁舎設計者選定審査委員会では、8月19日に課題に対する各者の技術提案書を多様な観点から審査を行い、最優秀者として株式会社 楠山設計を、優秀者として株式会社 八洲建築設計事務所を選定しました。

最優秀者、優秀者とも、中泊町の風土、自然景観や環境条件を良く理解され、まちへの想いが快く表現された提案であると共に、新庁舎に求められる防災機能を重視しつつも住民サービスや事務効率を向上させたバランスの取れた提案内容でした。

その他の提案も、各者の持てる技術力や創造性を十分に発揮され、非常にレベルの高いものでした。

ここに、本件プロポーザルに参加され貴重な時間を費やして真摯に努力いただいた関係各者に心より感謝いたします。また、今後選定された技術提案を基に、住民に親しまれ、誇りとなる中泊町新庁舎が整備されることを祈願いたします。